

【氏(歳)のプロフィール】

身長: cm 体重: kg BMI

職業: (仕事内容:)

既往歴 (対象が過去に罹患した病気):

家族歴 (対象と血縁関係にある親族が罹患した病気):

妊娠歴:

婚姻: 既婚 (歳) 未婚 (年月 予定あり なし) 離婚

特記事項:

※ 以下は妊娠に関する情報

最終月経: 年 月 日から 日間 (整・不整)

分娩予定日: 年 月 日

非妊時体重: kg BMI

妊娠中推奨体重増加: ~ kg 現在の体重増加: kg

喫煙: なし あり (本/日) 妊娠中は 禁煙 節煙 継続

飲酒: なし あり (/日) 妊娠中は 中止 減量 継続

母乳希望: なし あり (強く希望 できればあげたい どちらでも)

母親学級受講: なし あり ()

育休取得予定: なし あり (時期: まで)

家族構成

【サポートについて】

夫・パートナーの年齢: 歳 職業:

夫・パートナーの既往歴:

夫・パートナーの育休取得予定: なし あり (時期: まで)

喫煙: なし あり (本/日) 妊娠中は 禁煙 節煙 継続

退院後の帰省先:

退院後主に助けてくれる人とサポート内容:

【妊娠について】

必要な情報とアセスメント

【分娩について】

入院時週数: 週 日

主訴: 陣痛 破水 出血 その他 () 帝王切開入院 (適応:)

経過	時間
陣痛開始 (自然・人工)	月 日 時 分
子宮口全開大	月 日 時 分
破水 (自然・人工)	月 日 時 分
排臨	月 日 時 分
発露	月 日 時 分
児娩出	月 日 時 分
胎盤娩出	月 日 時 分

分娩期	分娩所要時間
第1期	時間 分
第2期	時間 分
第3期	時間 分
合計	時間 分

特記事項:

分娩様式：自然 吸引 鉗子 帝王切開

会陰切開：あり・なし（右 左 正中） 会陰裂傷：あり なし（ 度）その他裂傷（ ）

分娩時総出血量： g

産科処置：分娩誘発・促進：アトニン0 単位 PGE₂錠（ 錠内服）クリステレル 緊急帝王切開

酸素投与：O₂ L 時 分～ 時 分まで その他処置：

分娩後の全身状態：

	分娩直後	分娩後2時間（分娩第4期）
バイタルサイン		
子宮収縮		
創部		
その他		出血量 g

必要な情報とアセスメント

パースプラン（対象と家族のお産に対する要望）	パースレビュー（お産を振り返っての思い）
------------------------	----------------------

【胎児付属物所見】

胎盤娩出様式：シュルツェ ダンカン 混合 用手剥離

胎盤	臍帯	卵膜
大きさ： × cm	長さ： cm	裂孔部位：側方 中央 不明
形：	太さ： × cm	欠損：なし あり
厚さ： cm	捻転：右 左	質：強 弱
欠損：なし あり	付着：側方 中央 辺縁 卵膜	胎便着色：なし あり
分葉：著明 不著明	結節：（真 偽）	羊水
石灰沈着：なし あり	血管数：	量：多 中 少
白色梗塞：なし あり	静脈 本 動脈 本	色：白色透明 黄色 緑色
副胎盤：なし あり		混濁：なし あり

【 氏の新児所見】

在胎週数： 週 日

性別：男 女 不明

数：単 多胎（ 胎）

アプガースコア：1分後 点 5分後 点 出生直後の処置：

身体計測	体重 kg	身長 cm	頭囲 cm	胸囲 cm
頭囲計測	大横径 cm	小横径 cm	大斜径 cm	小斜径 cm
	前後径 cm	大泉門 cm	外表奇形	

一日の実習計画表

担当指導者 _____

____年 ____月 ____日 () 実習 ____ 日目

実習場所 (妊 ・ LDR ・ 褥 ・ 婦 ・ 新生児室)

③ 対象と家族の望ましい姿

④ 目標

① インパクト
注目していること

② 理由

⑥ 必要な情報から状況と状態を分析し、実施の評価をする (SOAP)

⑤ 計画

学生の行動計画

8:30

9:00

10:00

11:00

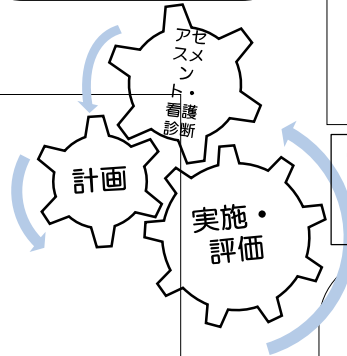
12:00

13:00

14:00

15:00

対象を観察する視点、援助計画の方法や内容・工夫や配慮する点



⑦ 対象を知るためにもっと欲しい情報

⑧ 本日の目標に対する自己評価
(状況を記述して、自己を分析しましょう。続いて女性の健康促進に向けた支援を考えよう。)

指導者さんからのアドバイス
(学生が記述する)

⑨ 本日の実習体験から
母性看護における倫理について考えたこと

外 来 実 習

担当指導者：

年 月 日 () 外来実習 () 日目 学籍番号

学生氏名：

本日の目標：	
実 習 計 画	外来実習で出会った対象者とその家族の様子から感じたこと、気づいたこと (来院理由、行われていた処置の場面、今までの経過や発達段階から考える)
時 間	実習内容体験したこと
外来における看護の役割について気づいたこと、学んだこと	
指導者から受けたアドバイス (学生が記入する) 指導者サイン ()	本日の実習体験から母性看護における倫理について考えたこと

助産所実習

年 月 日 ()

学籍番号

助産所名 :
学生氏名 :

本日の目標 :	
実 習 計 画	
時 間	助産所実習での体験を通し感じたこと、気づいたこと ※来院理由、行われていた健診や活動の場面、対象者とその家族の様子、妊娠週数や産後日数から考える
実習内容体験したこと	
地域における助産所の役割について気づいたこと、学んだこと	
助産所長から受けたアドバイス (学生が記入する)	

女性会館実習

担当指導者：

年 月 日 ()

学籍番号

学生氏名：

本日の目標：	
実 習 計 画	女性会館実習で出会った対象者とその家族の様子から感じたこと、気づいたこと (場面、来館理由、対象の発達段階や日常生活を踏まえて考える)
時 間	実習内容体験したこと
女性会館における看護の役割について気づいたこと、学んだこと	
指導者から受けたアドバイス (学生が記入する)	本日の実習体験から母性看護における倫理について考えたこと
指導者サイン ()	

学習活動	具体的な評価基準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
母性看護の対象について理解する	対象者の身体・心理・社会的な健康状態を表現している	対象理解 探求心 調整力	受け持ち情報用紙 1日の実習計画表 外部実習記録 面接 ミーティングの発言	対象者の健康状態を基礎的知識と関連させ、系統的に解釈している。 20	対象者の健康状態を知るために、指導者の助言を受けて、必要な情報を収集し解釈している。 15	対象者の健康状態を知るために、指導者と一緒に情報を収集し、解釈している。 10	対象者の健康状態を知るために得た情報を表現している。 5
母性看護の対象者に必要な看護援助を実践する	対象者に必要な看護を根拠に基づいて実践する	対象理解 実践力 倫理観	受け持ち情報用紙 1日の実習計画表 外来・外部実習記録 実習状況	対象者の健康に向けたねがいを表現し、対象者の経過や状態に合わせ、安全・安楽・自律に留意した看護援助を根拠に基づいて実践している。 25	対象者の状態に合わせた必要な看護援助を、根拠を明確にし、実践している。 15	気づきを視点に、対象者に必要な看護援助を実践している。 10	看護師が行う看護援助を、指導者と一緒に実践している。 5
看護専門職者としての倫理観をもつ	生命の尊厳について自己の考えをもち、対象者の考えを尊重して関わる	調整力 倫理観	受け持ち情報用紙 1日の実習計画表 外部実習記録 面接 ミーティングの発言	対象者の価値観、生活習慣、慣習、信条等を尊重して関わり、生命倫理について自己の考えを表現している。 20	対象者の思いや意向に合わせた関わりをしており、生命の誕生に対する自己の考えを表現している。 15	対象者の思いや意向を尊重するために必要な関わり方について表現している。 10	対象者の思いや意向について情報収集している。 5
母性看護の役割を理解する	女性が地域で安心して暮らしていくための、母性看護の役割を表現している	探求心 倫理観	最終レポート 実習状況 面接 ミーティングの発言	日々の様々な体験をもとに、地域における切れ目のない多職種連携について自己の考えをもち、母性看護の役割を表現している。 20	実習体験をもとに、母性看護の役割を表現している。 15	日々の実習体験を振り返り、得たことを表現している。 10	自己の体験を表現している。 5
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している。 15	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 10	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るという視点で自己の行動を振り返っている。 3	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0

実習指導者助言

欠課時間数
() 時間 / 90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン